

県民の日

記念行事のお知らせ

— 私たちのふるさと —

を知ろう！

6月15日は県民の日です。

500万県民千葉を記念して、

県民の皆さんが郷土を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇れる千葉県を築くため、県民の日を制定しました。

この日を中心に、各地で記念行事が繰り上げられます。皆さんが気軽に参加できる行事がいっぱいです。

ご家族そろって参加してみませんか。

せんか。

山武地域の行事

【6月17日(日)】

■歩行者天国 (名産品即売) 東金郵便局前通り)

■ふるさと写真展 (東金市中央公民館)

■親子工作教室 (サンピア)

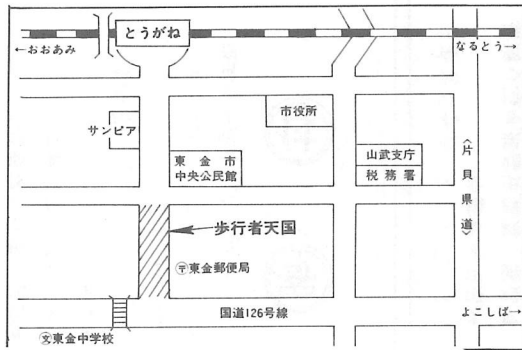
▽問合せ先 山武地域の山武地域実行委員会 (山武支庁内) ☎047551410222)

中央行事

■記念式典・講演・コンサート

■6月15日 (県文化会館)

■千葉のまつり 6月17日 (県総合運動場)



会場案内図

総合運動場

○郷土芸能大会

○南こうせつコンサート

○ミニSSL

○ふるさと市ほか

■ふるさと展 6月15日~20日 (千葉そごう)

▽問合せ先 県民の日実行委員会事務局 (☎047212312254)

歌壇



伊藤 美穂

うつそみの耐へがたき迄淋し日は夫の遺影に言問ひるたり

秋葉 とく

戦死せし夫の便りを読みつけば

耐へがたきまで胸裡あつし

齊藤 要

旧来の友の集ひの年々に

少なくなりて老後にも触るる

向後 泰治

風はらみ空に自在の鯉のぼり

曾孫抱き上げ見せをり吾は

萩原 信一

大利根の果てなき堤みに草もえて

陽炎中に雲雀鳴く声

吉岡 信子

吾こそと勇みて渡り初めたれど

十歩あゆむも至難の吊橋

掛川 友代

細打ちの疲れをいやす一ぶくに

桜吹雪は茶にも散り浮く

北田 ふじ

春の陽に玉蘭の花は咲き盛り

小さき奢りのごとく見て付つ

齊藤つね子

万葉を読みたる日より憧れし

堅香子の花しかと今日みつ

横芝の碑 137



屋形四社神社に残る

元禄・延享年間の刻銘

屋形の四社神社は、戦前は「郷社」という格式を持つ社でした。

この点については「社格を示す碑」として、名称を刻んだ石標を既に御紹介しておりますが(昭和49年3月号)、この社には、その他にも神社の昔を伝える刻銘が現存しているのです。

まず、社殿正面にある鳥居の向かって右側の柱には、「奉寄進上総加屋形村氏子敬白、左側の柱には「延享三丙寅国五月吉日」と刻まれ、更に鳥居をくぐった右側の御手洗には、「奉納浄洗明元禄三年」と刻まれています。

四社神社の創建については、海音寺潮五郎や赤城宗徳が、平良兼の館(やかた)説を中心として、各々異なった史説を発表していますが、いずれも決定的な資料には乏しいということです。

しかし、鳥居に刻まれた「延享三年(一七四六)」、御手洗に刻まれた「元禄三年(一六九〇)」の刻銘を見ると、既にそのころ里人の尊崇を得て、これほどの献納が行われていたこと、従ってそれ以前に、それだけの厳とした社殿を

と刻まれています。

四社神社の創建については、海音寺潮五郎や赤城宗徳が、平良兼の館(やかた)説を中心として、各々異なった史説を発表していますが、いずれも決定的な資料には乏しいということです。

しかし、鳥居に刻まれた「延享三年(一七四六)」、御手洗に刻まれた「元禄三年(一六九〇)」の刻銘を見ると、既にそのころ里人の尊崇を得て、これほどの献納が行われていたこと、従ってそれ以前に、それだけの厳とした社殿を

構えていたことが推定されます。

平良兼の館説は別としても、我がふる里発展の貴重な場所」として大切に扱いたいものと思います。(写真は延享三年献納の鳥居。右手の松の根元辺りに、御手洗が少し見えています)

◎「横芝の碑」は、今回で終了させていただきます。今までの御協力を心から感謝いたします。

町文化財審議会委員
小沢春光さん寄稿

